



VIAGGIO IN ITALY



大森愛子のイタリア紀行
AIKO OMORI PRESENTI

ソムリエ。ワインスクール講師。
世界15カ国以上を旅したのち、何だか面白そうなイタリアに移住。
現在、定職・定住地なし。強運のみを頼りに移動生活を続ける。
旅の最大の目的は、それぞれの国の人人が何を大切にしているのか
を知ること。

2016 24 3.22

Allora, そろそろイタリア語について話そう

さあイタリア語を学ぼうと気合を入れて参考書を開くと、最初に出会う言葉は
Ciao ! Buongiorno ! (こんにちは!) そして、英語の **How are you ?** にあたる **Come stai ?**

まあ何とかなるだろうと気楽に考えていた私は、イタリア行きの飛行機の中で1から20までの数字と
grazie (ありがとう)、**Ciao**、**Buongiorno**、**Come stai ?**

それだけの言葉を覚えてローマに移住しました。

生活の拠点となるのはオステイエンセ通り近くのマンション。

マンションの隣は八百屋さんで、店番のお兄さんは小柄で筋肉質、焼けた肌に濃い髭という、南イタリア出身を思わせる気さくな人。野菜を買いに行くといつも早口のイタリア語で話しかけてくれました。何を言ってるのかはほとんどわかりませんでしたが。



顔を合わせるとお兄さんの挨拶はいつも、**Tutto a posto?**(万事順調?)というものです。
Come stai?も使われますが、周りには**Tutto a posto? Tutto bene?**を挨拶に使う人が多いです。
OKと同じ意味で使われる**bene**はイタリア語の必須単語。
調子を聞かれて問題がなければ、**Bene, grazie.**と応えておけばまず間違いありません。

英語では`go well`になる**va bene**は会話の中で最も頻繁に使われる言葉です。
イタリア人の電話や会話を聞いてみると、ヴァッベーネ、ヴァッベーネ、ヴァッベーネの連発。あまりに使われる
ので**Vabbè**ヴァッベと省略して使うこともあります。
表題の**Allora**もイタリア人が乱発する単語で、さて、それでは、じゃ、えーっと、で?など、特に意味もなく使
われます。単に話をつなげるための単語ですが、アッローラ…と意味ありげに発音すれば、とりあえず周りの注
目を集めることができます。

八百屋さんに教えてもらって役に立った単語は他にもたくさんあり、例えば**busta**。
参考書の重要項目には入っていませんが、買い物では必要な単語です。



スーパーにはBustaを持っていこう

イタリア語でスーパー・マーケットはスупер・マルカート。
野菜や果物は1個から、お肉やチーズはグラム単位で購入できるので便利です。
日本へ持ち帰りたいお菓子やペーストもお土産屋さんより安く販売されているので、スーパーでの購入が絶対にお得。
欲しいものをカゴに入れてレジに進みます。
店員さんは機嫌のいい時は明るくお茶目ですが、忙しい時や不機嫌な時はあからさまにやる気がありません。
お菓子を食べながらの接客や、店員さんに「今他の用事をしているからちょっと待って。」なんて言われたらびっくりしてしまいそうですが、ここは人間同士、相手の状況を考えてゆったりした気持ちで構えましょう。お客様が
ものすごく並んでいるのに空いているレジが1つしかなかったり、レジの交代時間になると並んでいる人がいる
にもかかわらずレジ係が帰ってしまうこともあります、それでお客様が文句を言うわけではなく、「うわっ、つ
いてないなあ。」という感じでさっさと他のレジに並び直しています。こっちにも都合があるんだから、店にも都合
はあるよね、という感じ。列の割り込みに合ったこともありませんし、ペットボトル一本だけ買うため長い列に
並んでいるとき、先にどうぞと前へ前へと通してもらえたこともあります。
それで何だかうまくまわっているのです。

日本では、お客様は神様!なんて宣言しまうほどサービスを提供する側と受ける側の立場が明確に分かれていますが、それは特別なこと。ホテルやレストランならともかく、日本ではコンビニの店員さんにまで優しくされて、なんだか自分が偉い人になったような気がしますもの。日本のサービス精神には世界中が驚いています。他の国では基本的に店側と客の立場は対等という考え方がありますので、お店に入って店員さんと目があつたらまずボンジョルノとかボナセーラ、何か一言声をかける事が重要です。日本では終始無言でも買い物ができますが、イタリアではどんなお店だろうが、買い物をして黙って出て行くのはかなり失礼なことです。**grazie**とか**thank you**とか何か一言言うだけでいいのです。エレベーターで同じマンションの住人と乗り合わせたら、軽く挨拶をしますよね。あの感覚です。自分は怪しい者ではありませんという意思表示ですので、目を合わせなつたり挨拶をしないと、とても怪しまれます。

レジ係の人に挨拶をしたら後は言われた金額を支払うだけですが、おそらく店員さんはあなたの顔を見て尋ねるでしょう。

Busta? と。やっと出ました、スーパーで買い物をする時の必須単語。意味は、袋。

イタリアでも日本と同じくエコバックが主流ですので、ビニール袋が必要かどうかは必ず聞かれますが、この単語を知つていないと、なんのこっちゃとぽかんとしてしまいます。地域によっては **Sacco** や **Sacchetto** と表現することもあるようです。

「**ブスタ?**」と聞かれたら、必要に応じて

Si, una busta per favore. (一枚下さい。) もしくは **No, grazie.** (結構です。) などと応えてください。

聞かれる前に持参したエコバックを見せると言う手もあります。やはり自分の袋は持っていたほうがいいですね。資源の問題や経済的な部分もありますが、イタリアのスーパーのビニール袋は高品質とは言えませんので、牛乳パックの角など何か尖ったものが当たるとそこからすぐ破けてしまうのです。ほんと、残念。

でも、なんだかそれも可愛く思えてくるほど、イタリアのスーパーでの買い物はわくわくした気持ちになります。

野菜や果物は種類豊富でその上安く、見ているだけで美味しさが伝わってくるほど鮮やかでボリューミー。ワインやチーズが驚くほど手ごろな値段で手に入るのも魅力です。

食材に興味がある方は、イタリア旅行の際、ぜひ大型スーパーで食材を物色するという時間を設けてみてください。



スーパーのサラミとチーズの
量り売りコーナー



様々な種類のオリーブの量り売り

ちなみにスーパーの出口付近には正体不明の人が立っていることがあります、お店の人ではなく、たいていは買ったものやお釣りを恵んでほしい物乞いの人です。小銭をあげるかどうかは自由ですが、くれぐれもお財布はしっかりと閉めて見えないところにしまっておいてくださいね。日本人の男の子がジーンズの後ろポケットにお財布を入れて歩いているのを見ると、盗まれやしないかとヒヤヒヤしてしまうのです。



変な物を見つけるのも楽しいですよね。
大きすぎるクロワッサン。



今日はどのチーズを買おうかな